

1 調査日 令和8年7月14日（火）

2 調査の概要

（1）米原市役所（米原市）

滋賀県では「住み続けたいくなる還りたくなる北部へ」「挑戦する若者が育ち・集う北部へ」「訪れたいくなる北部へ」という3つのアプローチによって、北部地域の活性化に取り組み、移住者と施策による関係人口を3千人増やすことを目指したプロジェクト事業を多面的に実施している。

北部地域の一つである米原市は、豊かな魅力ある地域資源を有し、中部圏や北陸圏との結節点として高い可能性を有しているが、人口減少や高齢化の進行とそれに伴う地域経済の衰退が課題であり、新たな産業や雇用の創出が求められている。

本委員会では、「北の近江振興プロジェクトの進化・発展について」を重点審議事項の一つに掲げていることから、県全体の持続的発展のモデルケースとするための新たな事業であるクラウドファンディング活用型北の近江振興事業補助金の取組状況について調査を行うとともに、クラウドファンディングを活用されている事業者の方々と、「クラウドファンディングの実施を通じて感じたこと」、「北部振興の活性化に向けて取り組んでいきたいこと」をテーマとして意見交換を行う県民参画委員会を実施した。



（2）滋賀県立大学（彦根市）

滋賀県立大学では、令和10年4月開設予定の滋賀県立高等専門学校の設置・運営主体として、設置に向けた準備を進めているところである。

今年度は、カリキュラムを編成し、9月に予定されている文部科学省への設置認可申請に向けた準備が進められている。

滋賀県立高等専門学校の社会貢献に向けては、滋賀県発で次の時代の社会を支える高度専門人材を育成して輩出し、技術者の育成・交流のためのハブとして機能することが重要である。

本委員会では、「高等専門学校の設置に向けた検討について」を重点審議事項の一つに掲げていることから、滋賀県立高等専門学校の準備状況について調査を行った。

